

「スマート林業プロジェクト」の成果（令和元年度）

戦略目標

【現状】

2017(H29)

- 県産材の生産量・消費量 37.5万m³
- 新規林業就業者数 352人

【当面の目標】

2024(R6)

- ⇒ 60万m³
- ⇒ 546人

【10年後の目標】

2028(R10)

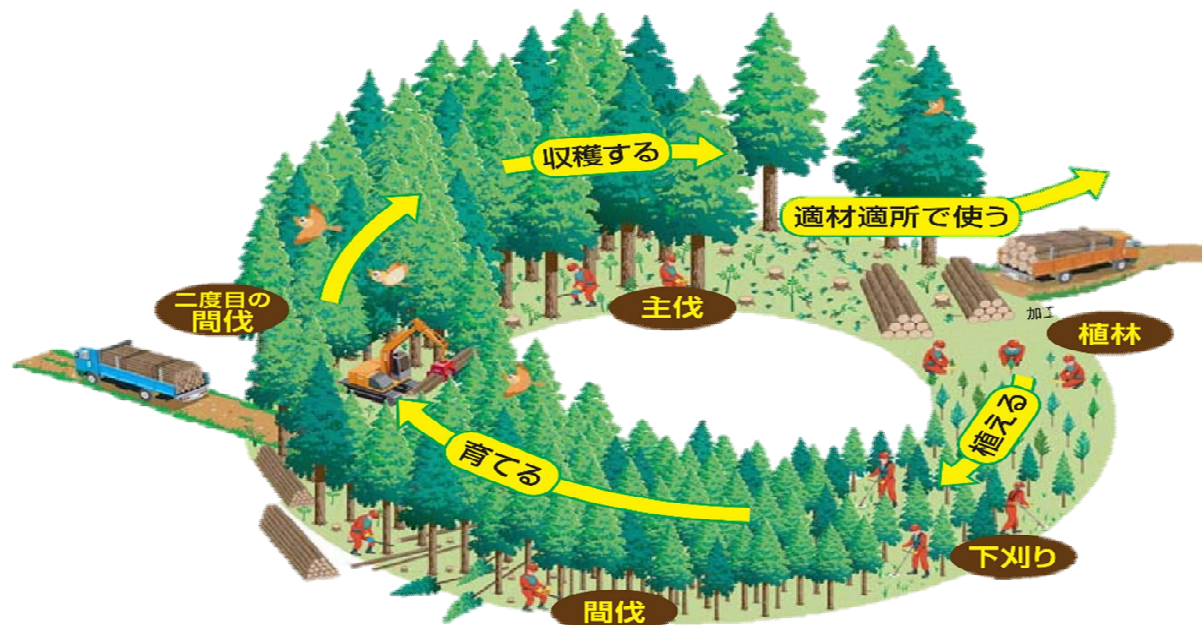
- ⇒ 70万m³
- ⇒ 800人

1年目の実績（令和元年度）

- 県産材の生産量・消費量 42.0万m³（計画 45.0万m³）
- 新規林業就業者数 419人（計画 396人）

川上

林業サイクルの構築 伐って⇒使って⇒植えて⇒育てる



スマート林業プロジェクト計画と実績

	単位	R元実績	R元計画	R4目標
主伐生産システム導入数(累計)	セット	4	4	7
アクティブシニア登録数	人	14	10	40
林業アカデミー修了者数(累計)	人	52	30	100
クール林業経営体数	経営体	13	5	25

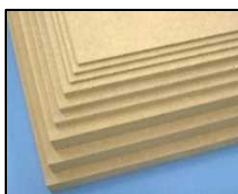
県産材の「まるごと利用」加工体制の充実



A材(製材・プレカット)



B材(合板)



C材(MDF)



D材(バイオマス燃料)

大径材の利活用調査

- 大径材生産事業者への流通調査
- 大径材製材事業者への加工製品調査



新型コロナウイルスの影響と対策

中国からの資材の入手難による住宅建築の遅れや新規住宅着工戸数の減少などの影響により、製材工場などで在庫が増加

- ◆ 製品在庫を、製品市場やプレカット工場等への運搬や保管などを支援
- ◆ 木造仮設住宅「板倉構法」の部材を汎用性の高いものへと規格化し、部材の供給シミュレーションを作成キットを製作し、災害時の円滑な建設、訓練で活用
- ◆ 需要が低迷する大径材の加工機械整備の支援

県産材の利用拡大

Web検討

県内

- 製材事業者と建築士、工務店等との商談会の開催
- 木造建築学校現場見学会の開催(出羽島)

県外・海外



常設展示場(新宿)



台湾常設展示場(台北市)



新型コロナウイルスの影響による事業の見送り

県外

- 東京オリ・パラ施設の後利用
- 大消費地での展示商談会
- 企業・自治体と連携した販売促進活動



海外

- 人材交流
- ビジネスマッチング
- 県産材+人材丸ごと輸出

